

巻末ページ



●掲載情報について

- **2026年1月1日現在**
- 最新価格は、ヤマハWebサイト
<https://jp.yamaha.com/>
でご確認ください。



管打楽器の保守・点検 / 管打楽器サポート

全国に広がるサービス体制

安心して楽器を任せられる技術者が在籍するお店は全国で200店舗以上。

各地の特約店、ヤマハの店舗およびヤマハ管打楽器テクニカルセンターで、きめ細かなアフターサービス（修理・調整）に力を注いでいます。

●管楽器リペアグレード取得店舗の紹介

全国のリペアネットワーク

ヤマハ（株）が定める基準、条件をクリアし認定試験に合格することで与えられる管楽器リペアグレードを持つ技術者のいる全国の店舗を紹介します。



近くのリペア対応の特約店

ヤマハ リペアネットワーク

<https://jp.yamaha.com/products/contents/winds/windstore/>



静岡県/
ヤマハ管楽器テクニカルアカデミー

1978年、管楽器拡売とともに、正確な知識と技術を持ち合わせた管楽器修理技術者の輩出を目的にヤマハ（株）が創設した職業訓練校です（全寮制で短期集中、一年間上限20名）。卒業生は全国のヤマハ特約店に就職し、更なるリペアスキル向上を目指します。（7月上旬頃次年度募集要項配布予定）



管打楽器の保守・点検のおすすめ

●楽器も定期的な健康診断が必要です。

楽器の機能や性能を維持し安心してお使いいただくために、ヤマハ管打楽器特約店の技術者による年2回の定期的な保守点検の実施をおすすめします。フルートやサクソフォン等の木管楽器では楽器の状態に応じて、タンポ合わせやキの連絡調整を実施し、発音の確認と雜音、共鳴のチェックを行います。また、トランペットやホルン等の金管楽器は、抜き差し部分およびバルブ類について注油と作動確認を実施します。打楽器では、ヘッドのチューニングや注油の他、作動確認を実施します。保守点検を受けることで、楽器をお買上げいただいた後も、安心してより長くご使用いただけます。大切な楽器のために定期的な保守点検をおすすめします。



ヤマハ管楽器 安心アフターサポート



ヤマハ 安心アフターサポート



最長5年間の安心保証

「ヤマハ管楽器 安心アフターサポート」に登録・加入すると、メーカー保証1年終了後も4年間の修理サポートが受けられます。

対象者

日本国内で対象製品を新品購入され、
日本国内で使用される個人のお客様

※ご購入後1ヵ月以内にお申込みが必要です（申込無料）。

※学校備品、レンタル品（レンタル後に購入された製品を含む）、リース品、電子製品、中古品、譲渡・転売品、対象製品の付属品は対象外です。



楽器リース

リースなら、必要な楽器・機材がラクラク導入できます。

楽器を揃えたいけれど予算がない…。
計画的に楽器を導入するにはどうしたら…。
リースは、こんなお悩みを解決します。
一度に多額の購入資金を用意する必要がなく
月々わずかなリース料支払いでもラクラク導入。
手続きも簡単です。動産保険付きで
万が一の事故にも対応しています。



少ない資金で
導入可能



保険付きで
万が一でも安心



リース終了後に
物件譲渡が可能
(学校・地方自治体等)

●リース期間終了後「物件譲渡」となる契約が可能

ご契約者様が、固定資産税非課税の法人（地方公共団体、学校、社会福祉法人等）の場合、基本リース期間終了後、リース物件の所有権がお客様に移転する「無償譲渡条件付きリース」をご利用いただけます。

手続きは簡単



●月額リース料 お見積り例 ※写真はイメージです

ペダルティンパニ
TP-6300Rシリーズ 4台セット
物件金額2,189,000円(税込)相当



月額リース料
(5年リースの場合) 41,690円(税込)

チューバ
YBB-641II
物件金額979,000円(税込)相当



月額リース料
(6年リースの場合) 15,950円(税込)

●学校向け楽器リースWebページ

リースのご案内、各種お見積り例、お問い合わせフォーム等を掲載

QRコードよりご覧ください▶



納入翌月よりリース開始



●楽器リース活用事例：野田市立南部中学校

リースは定期的な楽器導入に有効なシステム

一度の契約で3~4台の楽器をリースで導入、部費の一部をリース料支払いに充てています。

今ではリース期間満了に合わせて次の楽器を導入するというサイクルが定着しており、定期的な
楽器導入にリースは有効なシステムだと思います。

●楽器リース概要

○リース対象物件

(株)ヤマハミュージックジャパン取扱商品全般
※1契約につき物件総額22万円(税込)以上がリース契約対象となります。

○ご契約の対象

法人格を有する団体（ご契約には法人代表者の捺印が必要となります）
※お見積りご依頼の際、与信審査が伴います。審査に必要な財務資料
(決算書3期分)の提出をお願いする場合がありますので予めご了承ください。

○基本リース期間

3年・4年・5年・6年からお選びいただけます。

※基本リース期間中の解約はできません。

お客様のご事情で解約の場合、規定損害金をご精算いただきます。

○リース料お支払い

口座振替または銀行振込に対応しております。

※口座振替：事前ご登録の口座より毎月8日に引き落とし。

※銀行振込：振込手数料はお客様負担。

○取扱リース種

ファイナンス・リース：基本リース期間終了後は、ご返却または再リース（基本リース期間時の1/10程度のリース料）にて継続利用が可能です。全ての法人をご利用いただけます。

無償譲渡条件付きリース：基本リース期間終了後、リース物件はお客様に譲渡となります。固定資産税が非課税の法人（地方自治体、学校、社会福祉法人等）をご利用いただけます。

○保守付きリース契約に対応

基本リース期間中はリース料に保守料（点検、調律、メンテナンス等）を含めた契約が可能です。これにより、定期的な保守点検が可能になります。

○動産総合保険

リース物件は全て動産総合保険に加入。事故による破損、火災、水ぬれ、盗難等、予期せぬ損害にも対応し、万が一の場合でも安心です。

楽器を安全にお使いいただくために

1 楽器の設置と移動には注意してください

- 楽器を段差のある床や傾いた床などに設置しますと、不安定になつたり転倒したりするおそれがあります。
- ピアノはたいへん重量がありますので、移動には危険が伴います。児童・生徒様だけでの移動は絶対に行わないでください。移動の際には、専門業者にご相談いただくことをおすすめします。グランドピアノLCモデル(P7)、転倒防止補助キャスター(P9)を装着したアップライトピアノを移動される際には、段差のない平坦な面での短い距離に限り、大人の方数名で行ってください。
- ティンパニ、マリンバなどの大型楽器につきましては、ご指導の先生方による十分な安全確認の下での移動をお願いいたします。
- キャスターが備えられた楽器を移動する際は、滑らかな平坦面でのみ、ゆっくりと行ってください。傾いた所や凹凸のある道、じゃり道ではキャスターを利用した移動は行わないでください。楽器が止まらなくなつて壁にぶつかったり、脚部が

破損したり楽器が転倒したりするおそれがあります。また楽器によっては、力を加える位置や方向によりバランスをくずし、転倒するおそれがあります。

- キャスターにストッパーがついている楽器では、移動するとき以外はすべてのストッパーが確実にロック、もしくは締められていることを必ずご確認ください。ストッパーがゆるんだ状態のままでは、楽器が不意に動いて重大な事故につながるおそれがあります。
- キャスターが備えられていない楽器を移動する際は、引きずらないでください。脚部の破損や本体転倒のおそれ、また床を傷つけるおそれがあります。
- 電子楽器等を移動する際は、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行ってください。外れないコードは、まとめるなどして引きずらないようにしてください。コードを傷めたり、けがをしたりすることがあります。



2 ネジはしっかり締め付け、ゆるみに注意してください

- 楽器や椅子の組み立て時には、固定用ネジをしっかり締め付けてください。締め付けが不十分ですと楽器や椅子の転倒、部品の落下等によるけがの原因となります。
- 長期間の使用で楽器や椅子のネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ状態で使用を続けられますと、ネジや部品が脱落したり楽器や椅子が破損・転倒してけがをしたりするおそれがあります。定期的に点検して、ゆるんでい

る場合はネジを締め直して使用してください。

- 脱落したネジや部品は、踏んけがをしたり、幼児・児童様が誤って飲み込んでしまったりするおそれがあります。脱落したネジや部品を見つけたときには外れた箇所に取り付け直すか、幼児・児童様の手の届かないところに保管した上で点検・修理をご依頼ください。

3 楽器の可動部やすき間などの手指や足の挟み込みに注意してください

- 鍵盤楽器の鍵盤蓋(キーカバー)を開閉するときは、両手で静かに行い、途中で手を離さないでください。また、ご自分やまわりの方、特に幼児・児童・生徒様などが、鍵盤蓋(キーカバー)の端と本体の間で手や指を挟まないよう注意してください。
- 回転式の鍵盤蓋(キーカバー)では他の人が鍵盤蓋(キーカバー)に触れて倒されないように注意してください。
- 現在販売されているほとんどの回転式の鍵盤蓋(キーカバー)には手を離しても鍵盤蓋(キーカバー)がゆっくり閉まる機構が備えられておりますが、備えられない楽器では特に手の挟み込みに注意してください。
- グランドピアノの屋根の開閉は必ず大人が注意して行ってください。屋根は重いので手や指を挟むけがをするおそれがあります。
- グランドピアノの屋根が開いているときは下に頭や体を入れないでください。万一、屋根が落下した場合に頭や体を挟んけがをするおそれがあります。
- グランドピアノの屋根が開いているときは突上棒に触れないでください。突上棒が受皿から外れて、屋根が落下する場合があります。

● グランドピアノの屋根を開く際は、突上棒をセットする受皿を正しく選んでください。誤った受皿にセットしますと、支えが不安定となり屋根が落下する場合があります。また、突上棒の先端は受皿の中央に確実に入れてください。



- ドラムセットやペダルティンパニなど、可動部が剥き出しになっているような楽器では、楽器の操作時に可動部に手で触れたり足を入れたりしないでください。

挟まれてけがをするおそれがあります。

- マーチングキャリングホルダーを装着し、楽器を折り畳んだ状態で保持する場合には、必ず楽器本体を両手で保持してください。楽器本体をしっかりと保持されませんと、楽器が前に倒れ、体のバランスをくずして転倒したり、とっさに楽器を支えようとしてチルトアップ機構の回転部に手指を挟んでけがをしたりするおそれがあります。

4 楽器内部に異物を入れないでください

- 鍵盤蓋(キーカバー)や鍵盤のすき間などから楽器本体内部に、金属や紙片などを入れないでください。
- 鍵盤蓋(キーカバー)を開けるとき、鍵盤蓋(キーカバー)の上に金属や紙片などを置かないでください。本体の内部に落ちて取り出せなくなり、雑音、動作不良、感電、ショート、火災や故障の原因になります。

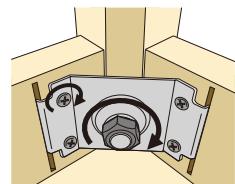
楽器の内部に物を落としてしまった場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグ/アダプターをコンセントから抜いた上で(電池を使用している場合は、電池を本体から抜いた上で)、点検をご依頼ください。(有償修理)



5 楽器の椅子は正しく使用してください

- 椅子で遊ばないでください。椅子から転落したり、椅子が転倒したりしてけがをするおそれがあります。
- 椅子を踏み台に使わないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 椅子のナットやネジがゆるんだままで使わないでください。椅子が壊れてけがをすることがあります。ガタツキが生じている部分のナットやネジを締め直して使用してください。
- 背もたれがない椅子では幼児・児童様の後方への転倒に注意してください。
- 椅子を設置する時は水平を保つようにしてください。水平が保たれない状態で設置されると、本体の歪み、可動部の不良の原因になります。また、転倒などによりけがをするおそれがあります。

- 長年のご使用により板の剥がれや変形、溶接部の異変が見られた場合は使用を止め、お問い合わせ先までご相談ください。そのまま使い続けますと、使用中に椅子が破損し、転倒などによりけがをするおそれがあります。



6

楽器のまわりで遊ばないでください

- 楽器に登ったり、下やまわりで遊んだりしないでください。滑り落ちたり、頭をぶつけたりしてけがをするおそれがあります。
- 楽器に寄りかかったり、腰掛けたりしないでください。楽器が転倒したり、不意に動いたりしてけがをするおそれがあります。



7

故障状態を放置しないでください

楽器や関連備品の故障状態を放置すると思わぬ事故が発生することがあります。

- 鍵盤蓋(キーカバー)のゆっくり閉まる機構が劣化や故障していると勢いよく蓋が閉じ、手指を挟むことがあります。
- ピアノカバー等が破れていると、鍵盤蓋(キーカバー)や屋根を開閉するときに引っかかり、蓋や屋根が落下することがあります。
- スタンドやキャリングホルダーなどのかしめなどがゆるんでがたついた状態で使用していると、壊れて楽器が落下し、けがをすることがあります。
- ドラムやティンパニのヘッドの破れ目やマリンバなどの割れた音板の断面、弦の先端は鋭利ですので、手を切るなどの危険があります。
- 本体や周辺機器から異常な臭いや煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグや電源アダプターをコンセントから抜いてください。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜いてください。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。

- 電源コードなどの被覆剥けを放置したり、ビニールテープなどで応急修理したりすると、感電の原因や、発煙・発火し火災の原因となることがあります。
- ケースの把手が壊れたり、外装が破れたりした状態で使用していると、思わぬけがの原因になることがあります。
- ストラップが破損した状態で使用していると、楽器が落下してけがをすることがあります。
- 楽器ケースの外装は経年劣化によって変質するおそれがあります。直射日光や高温多湿の場所を避け、風通しの良い場所で保管してください。

故障に気づかれたら直ちに、お買い上げ店またはサポート・お問い合わせ (<https://jp.yamaha.com/support/>) より点検・修理をご依頼ください。
※ピアノカバーの補修は承っておりません

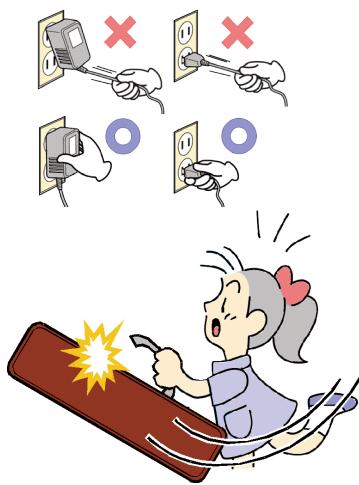
8

電源コード、電源アダプターは正しく取り扱ってください

誤った取り扱いをされると、感電の原因や、電源コード/アダプターまたは本体から発煙・発火し火災の原因となるおそれがあります。

- 電源コード/アダプターは、必ず楽器に付属していたもの、もしくは取扱説明書で指定されたものを使用してください。
- 電源コード/アダプターの使用時や保管時には、電源コードを無理に曲げたり、電源アダプターなどに巻き付けたり、傷つけたりしないでください。
- 傷んだ電源コード/アダプターを使用しないでください。
- 電源プラグ/アダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグ/アダプター本体を持って引き抜いてください。

- コンセントに電源プラグ/アダプターを差すときは、プラグ部にアース端子を挟み込まないように注意してください。
- 電源プラグ/アダプターのゴミやはこりは定期的に取り除いてください。



9

楽器や付属品などを振り回したり、投げたりしないでください

- 楽器や演奏器具を振り回したり、投げたりなどの乱暴な取り扱いはしないでください。鋭利な部分が当たったり、部品やストラップが外れて落下したりして周囲の人を傷つけるなど、思わぬ事故の原因となります。
- 楽器ケースやモニタースピーカーなどのキャリングハンドル(把手)を持って振り回さないでください。キャリングハンドル(把手)が破損して落下するなどといった事故が起こるおそれがあります。

10

大音量による聴覚障害に注意してください

- 楽器をヘッドホンや他の音響機器などと接続する場合は、すべての楽器や機器の電源を切った状態で行ってください。大音量による聴覚障害や、感電または機器の損傷の原因になることがあります。
- 電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にしてください。さらに、演奏を始める場合もボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき、適切な音量にしてください。大音量による聴覚障害や、機器の損傷の原因になることがあります。



11

幼児・児童様による誤飲に注意してください

- 電池、磁石、SDカード、USBメモリーなどは幼児・児童様の手の届くところに置かないでください。幼児・児童様が誤って飲み込むおそれがあります。特にコイン(ボタン)電池や強力な複数の磁石(または磁石と金属)を誤飲された場合、重篤な身体危害を引き起こすおそれがあります。

- オイルやポリッシュ類などのお手入れ用品を幼児・児童様が口にしないよう、十分注意してください。幼児・児童様の手の届かない所に保管したり、楽器のお手入れは幼児・児童様のいない所で行ったりするなど、お手入れ用品の管理には注意してください。

誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

商品お問い合わせ先一覧

商品ジャンル		お問い合わせ先	電話番号/URL
ピアノ	ピアノ、ピアノ椅子、ピアノ周辺機器、ピアノカバー、ピアノお手入れ品	お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口	0120(137)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4080
	メトロノーム	お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口	0120(132)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4087
教育楽器	リコーダー、ピアニカ、その他	お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口	0120(132)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4087
学校用電子ピアノ/キーボード	学校用電子ピアノ、キーボード、教材アクセサリー	お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口	0120(132)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4087
	ミュージックラボラトリーエンターテイメント・システム	鍵盤事業戦略部 ピアノ・EKB事業企画課	050(3147)2114
	電子ピアノ、キーボード、クラビノーバ	お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口	0120(139)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4079
	ステージキーボード、ステージピアノ	お客様コミュニケーションセンター シンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口	0120(145)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4083
	輸入キーボードスタンド類	取り扱いブランドに関するお問い合わせ	[ヤマハ 取り扱いブランド 問い合わせ] https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=1013&lc=ja_JP
エレクトーン / クラシックオルガン	エレクトーン	お客様コミュニケーションセンター エレクトーンご相談窓口	0120(138)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4078
	クラシックオルガン	鍵盤事業戦略部 ピアノ・EKB事業企画課	https://jp.yamaha.com/support/contacts/musical_instruments/viscount/
和楽器	和太鼓、鳴り物	取り扱いブランドに関するお問い合わせ	[ヤマハ 取り扱いブランド 問い合わせ] https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=1013&lc=ja_JP
管楽器	管楽器、管楽器アクセサリー、チューナー、メトロノーム	お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口 ※ヤマハブランドのみ	0120(132)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4087
	輸入：管楽器、管楽器アクセサリー、管楽器スタンド類	取り扱いブランドに関するお問い合わせ ※ヤマハ以外	[ヤマハ 取り扱いブランド 問い合わせ] https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=1013&lc=ja_JP
弦楽器	コントラバス、弦楽器アクセサリー	取り扱いブランドに関するお問い合わせ ※ヤマハ以外	[ヤマハ 取り扱いブランド 問い合わせ] https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=1013&lc=ja_JP
	バイオリン、ピオラ、チェロ、サイレントシリーズ、弦楽器アクセサリー	お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口 ※ヤマハブランドのみ	0120(132)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4087
	ギター、ベース、輸入アンプ、ギタースタンド	お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口	0120(143)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4093
	Line 6製品	Line 6インフォメーションセンター	0120(063)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4473
打楽器	コンサートバーカッショhn、マーチングバーカッショhn、ベル、小物打楽器、マレット、打楽器用カバー・ケース、一部スタンダード、打楽器お手入れ用品	お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口 ※ヤマハブランドのみ	0120(132)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4087
	輸入：コンサートシンバル、バーカッショhn(レモ)、小物打楽器(LP・K.M.K.)、ドラムヘッド	取り扱いブランドに関するお問い合わせ ※ヤマハ以外	[ヤマハ 取り扱いブランド 問い合わせ] https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=1013&lc=ja_JP
	アコースティックドラム、電子ドラム、ドラムセット用シンバル、一部輸入バーカッショhn(ナタール、ラ・ローザ)、輸入椅子、輸入ケース、一部スタンダード	お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口	0120(143)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4093
管弦打楽器指導書	指導書、教則本、レパートリー集	株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス 楽譜・書籍・雑誌等に関するお問い合わせ	[ヤマハ 楽譜・書籍・雑誌 問い合わせ] https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=2008&lc=ja_JP
楽器周辺機器 / 設備 / サービス	譜面台、ハーモニーディレクター、アクセサリー、管弦打楽器の保守・点検サポート	お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口	0120(132)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4087
	輸入：指揮者用備品、譜面台・指揮台・椅子、楽器・楽譜収納備品、組み立て式ステージ	取り扱いブランドに関するお問い合わせ	[ヤマハ 取り扱いブランド 問い合わせ] https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=1013&lc=ja_JP
	防音室(アビテックス)・防音ドア・調音パネル	防音室(アビテックス)・防音ドア・調音パネル お問い合わせ窓口	0570(070)808 ナビダイヤル
	技術者養成に関するお問い合わせ	ヤマハ管楽器テクニカルアカデミー	0120(789)808 受付時間 9:00~16:00(12:30~13:30は除く) ※土日祝祭日および指定休日を除く
	管打楽器 保守・点検サポート	お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口	0120(132)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4087
	ヤマハ管楽器 安心アフターサポート	株式会社ヤマハコーポレートサービス ヤマハ管楽器 安心アフターサポート事務局	0120(225)808 受付時間 10:00~17:00 ※土日祝祭日および指定休日を除く
音楽ソフトウェア / コンピューター関連	楽器リース	サービス事業戦略部 レンタル・リース課	ymj-lease-SMB@music.yamaha.com
音楽ソフトウェア / コンピューター関連	ミキサー、マイクロフォン	プロオーディオ・インフォメーションセンター	0120(016)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4471
	オーディオインターフェース、ミュージック・ソフトウェア	スタインバーグ・コンピューターミュージック・インフォメーションセンター専用メール窓口	https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/steinberg_notes/
	ポーカロイド教育版、デジタル音楽教材、副教材	【製品仕様】Smart Education Systemお問い合わせ窓口	https://ses.yamaha.com/rd/contact/
音響システム	AV製品(オーディオシステム)	お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口	0120(135)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4089
	PA製品	プロオーディオ・インフォメーションセンター	0120(016)808 携帯電話、IP電話からは050(3852)4471
	輸入：スピーカー、マイクスタンド	取り扱いブランドに関するお問い合わせ	[ヤマハ 取り扱いブランド 問い合わせ] https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=1013&lc=ja_JP
遠隔授業システム / スピーチプライバシー システム	ヤマハネットワーク製品	ヤマハ株式会社 プロフェッショナルソリューション事業部	https://network.yamaha.com/support/
	遠隔授業システム / スピーチプライバシー システム	国内マーケティング & セールス部 セールスグループ	https://sound-solution.yamaha.com/support/

●お客様コミュニケーションセンター/インフォメーションセンター営業時間について

お問い合わせ窓口	営業時間
ピアノご相談窓口、管弦打楽器ご相談窓口、電子ピアノ・キーボードご相談窓口、シンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口、エレクトーンご相談窓口、ギター・ドラムご相談窓口、オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口	月曜～金曜 10:00～17:00 (土日祝祭日・センター指定休日を除く)
防音室(アビテックス)・防音ドア・調音パネルお問い合わせ窓口	月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00 (土日祝祭日・センター指定休日を除く)
調音パネルお客様ご相談窓口	月曜～金曜 9:00～12:00、13:00～17:00 (土日祝祭日・センター指定休日を除く)
プロオーディオ・インフォメーションセンター	月曜～金曜 11:00～17:00 (土日祝祭日・センター指定休日を除く)
Line 6インフォメーションセンター	月曜～金曜 11:00～17:00 (土日祝祭日・センター指定休日を除く)
ヤマハ楽器音響製品お客様サポートLINE公式アカウント	月曜～金曜 10:00～16:00 (土日祝祭日・センター指定休日を除く)



商品についてのお問い合わせ先は、各頁の下欄、またはこの裏面をご覧ください。

●楽器購入料金に関するご案内

本カタログに掲載されております商品の価格は、メーカー希望小売価格(一部の商品は除きます)で税込金額を表示しています。また表示の価格には運搬、納入、据え付け等の料金は含まれておりません。ご購入に際しては、本体価格とは別途にご計画いただけますようお願い申し上げます。なおその料金は、商品、具体的な納入作業の範囲、地域などによって異なりますので、詳細につきましてはヤマハ特約店におたずねください。

●ご使用の前に

取扱説明書に記載されている安全や取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。

●大切にしたい、音のエチケット

美しい音もときには周囲の迷惑となります。演奏の際には、時間帯によって音量を調節したり、ヘッドホンを使用するなど、周囲への優しい配慮も大切です。ヤマハでは、遮音対策を紹介したパンフレット「音のエチケット」を用意していますので、ぜひご利用ください。

■本カタログに印刷された商品の色調・木目等は実際の商品と異なる場合があります。

■仕様および外観、価格などは改良のため予告なく変更する場合がありますので了承ください。

■楽器のご購入・修理等に関するご相談は下記取扱店にご用命ください。

・QRコード®は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

・Blu-ray(ブルーレイ)はBlu-ray Disc Associationの商標です。

・Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。

・iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。

・iPad、iPhone、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

・AppStoreは、Apple Inc.のサービスマークです。



環境に配慮し表紙はノンVOCインキ、本文はペジタルインクを使用しています。

ヤマハWebサイト

<https://jp.yamaha.com/>

学校向けWebサイト「music pal」

https://jp.yamaha.com/services/music_pal/

YamahaとMembers（お客様）をMusicで結ぶ

Yamaha Music Members

ヤマハミュージックメンバーは、音楽を楽しむ方のための会員制サービスです。
音楽や楽器に関する最新情報をお届けするほか、会員限定イベントの開催、コンサートやライブの優待など魅力的な特典をご用意しています。

member.jp.yamaha.com



■株式会社ヤマハミュージックジャパン 管弦打事業戦略部

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号

横浜シティフォーステージ ウエストタワー

TEL.050-3148-2787

2026年1月作成

取扱店